

前号のつづき、「農業情報研究所」からの抜粋です。

<http://www.juno.dti.ne.jp/~tkitaba/index.html>

「全国ナラ枯れ情報」から ②

南魚沼「牧之庵」店主のひとりごと 08.10.5

夜の営業を始めて暫くしたら電話が入った。埼玉の常連さんから今、テレビでニュースを見ていたら、南魚沼市で熊に二人襲われたっていったよ。別々の熊らしいから、山にクルミ拾いに行くときは気をつけた方がいいよ。心配していただいて有り難いことだね。

そうなんだよ、今年は熊の出没が多い年のようなだね。どうも木の実が不作らしいんだよ。奴らも、冬眠に備えて鱈腹食べて脂肪をいっぱい付けなくちゃいけないから必死なんだね。

それにね、山肌を見ると、もの凄く枯れ木が目立つのよ。それも半端じゃないんだ！ナラとか、カシとかの木が無惨に枯れてるんだよ。どう見ても虫じゃないね。環境異変かね～？そう言う影響じゃないだろうか？心配だよ・・・

何度かクルミ拾いに行ってきたが、確かにクルミに限っては極端に不作なんだね。まだ例年の半分も確保できなくて心配してたんだよ。やばいな～？

<http://d.hatena.ne.jp/bokusian/>

田舎のナラの木は、破滅状態 08.10.11

だいぶ遅れてしまったが、オイラの田舎のナラの木は絶滅の危機になっている。昨年までこの景色は無かったが、今年、地域の山には、ポツポツと立ち枯れの茶色の葉が緑の山に点在する。ナラの木が虫に食われているのだ。春には大丈夫だったのが・・・近づいてみると、手が付けられない程、虫が幹を食い荒らしている。しかもナラの木には、殆ど食い始めている、まだ葉が緑。しかし近い内に枯れ始めるだろう。

<http://today2008.blog.so-net.ne.jp>

(山形)県管理・指導の民有林ナラ枯れ27市町村に拡大 08.10.16

細菌の感染によるミズナラなどの集団枯死「ナラ枯れ」が深刻化している問題で、県が管理・指導する民有林の今年の被害は、過去最多の27市町村に拡大していることが15日、わかった。山形、米沢、金山など9市町でも初めて確認され、被害数は計2万7737本に上った。また、東北森林管理局などの推計では、県内の国有林の被害数は4万本に達するとみられる(以下略)。

(YOMIURI ONLINE)

京都のシイ、カシ、ナラの森を守ろう 08.10.21

「ナラ枯れ」というのは、カシノナガキクイムシという南方系の昆虫、これが運ぶナラ菌がシイ、カシ、コナラなど、ドングリをつける木を枯らす病気です。

この病気は、京都府下では1990年ごろ府の北部、大江山で発生し、どんどん被害地を広げ、現在、京都市のまわりの森(北山はもちろん、東山や一部西山)にまで広がっています。私たちは、この間、芦生の森や美山町、京北町への拡散を指摘し、被害拡大の先端部での伐倒駆除などを行政に求めてきました。しかし、行政は枯死木の伐倒処理を基本とし、それ以上の駆除は行いませんでした。被害が一定規模に広がってしまった場合や、被害の先端地で生被害木が残っている場合、生きている被害木(生被害木)は、「虫を殺す」とか「そこからは新たな虫は発生しない」とかの間違った理由で、京都府などは「生被害木」の伐採には否定



里のギャラリー 29

的でした、そのまま放置するわけにはいかないので、東山という条件(比較的近く作業がし易い)を生かして、市民参加で、虫が侵入した木の穴を爪楊枝で埋める「爪楊枝駆除」の活動を続けてきました。最近では、樹木の片側半分をビニールで覆い、虫の穿孔を防ぐ「半径巻き」の活動も行われています。こうした活動の中で、東山の高台寺国有林や吉田山では2007年、08年と一定の効果が現れてきています。

私たちは、「ナラ枯れ」の異常な進行には地球温暖化が大きく影響していると考えています。これまでいなかった南方系の昆虫が大量に発生し、これまでは一定期間で終息していたものが十数年も収まらずに被害を拡大させている、ある場合は、同種の樹木を7割も8割も枯らしてしまう、これは明らかに異常事態です。一部の研究者が指摘する「老齢木が増えた中で起こる『自然現象』」とは、考えにくいものがあります・・・

<http://blog.goo.ne.jp/y2sakaki-b/e/98df5cec526547f9944bd9851ec16290>

(引用者注) 里山が放置され、老齢木が増えたことがナラ枯れ拡大の最大の原因とする有力説があるが、これは被害の実態から乖離していると感じている。現在のナラ枯れは、かつての「里山」の範囲をはるかに超えて広がっている)